

# 日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震の地震防災戦略について

日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震による人的被害、経済被害について、今後10年間に達成すべき定量的な減災目標とその具体的な実現方法等を定めるものである。

平成20年12月中央防災会議決定

## 人的被害

【減災目標】 今後10年間で死者数を4～5割減

※冬5時、風速15m/s

【地震名】	【現状】	【対策後】	【地震名】	【現状】	【対策後】
宮城県沖	約290人	約160人	色丹島沖	約80人	約40人
三陸沖北部	約420人	約230人	択捉島沖	約60人	約30人
十勝沖・釧路沖	約290人	約180人	明治三陸タイプ	約2700人	約1600人
根室沖・釧路沖	約130人	約70人	500年間隔	約870人	約550人

## 経済被害

【減災目標】 今後10年間で経済被害額を1/4減

※冬18時、風速15m/s

【地震名】	【現状】	【対策後】
宮城県沖	約1兆3000億円	約9900億円
三陸沖北部	約7000億円	約5300億円
十勝沖・釧路沖	約1兆2000億円	約8500億円
根室沖・釧路沖	約2700億円	約2000億円

### 津波による死者数の軽減

- ・海岸保全施設整備の推進：津波等による災害から一定の水準の安全性が確保されていない地域の面積 約11万ha→約7万ha
- ・津波ハザードマップの作成支援：津波防災対策が必要な全市町村において策定
- ・津波防災訓練の実施：全沿岸市町村において実施
- ・自主防災組織の育成・充実：推進地域における自主防災組織活動カバー率 63.8%→86%



スマトラ島沖地震(2004.12)に伴う津波被害

### 直接被害の軽減

- ・住宅・建築物の耐震化：耐震化率 75%→90%
- ・急傾斜地崩壊危険箇所の対策：急傾斜地の崩壊による災害から保全される戸数 約42万戸→約54万戸
- ・海岸保全施設整備の推進：津波等による災害から一定の水準の安全性が確保されていない地域の面積 約11万ha→約7万ha
- ・密集市街地の整備※7、消防団の充実・強化※8、自主防災組織の育成・充実、耐震強化岸壁の整備※9、都市ガス分野の地震対策※10

### 建物倒壊等による死者数の軽減

- ・住宅・建築物の耐震化：耐震化率 75%→90%
- ・急傾斜地崩壊危険箇所の対策：急傾斜地の崩壊による災害から保全される戸数 約42万戸→約54万戸
- ・学校施設の耐震化※1、医療施設の耐震化※2、防災拠点となる公共施設等の耐震化※3、ゼロメートル地帯等における河川堤防の耐震化※4、大規模盛土造成地の耐震化※5、家具の固定※6



新潟県中越沖地震(2007.7)

### 火災による死者数の軽減

- ・密集市街地の整備※7、消防団の充実・強化※8、自主防災組織の育成・充実、住宅・建築物の耐震化



阪神・淡路大震災(1995.1) 出所)神戸市消防局HP

### 間接被害の軽減

- ・建物被害と死者数の軽減に加え、事業継続の取組の推進※11により、生産活動の低下、全国への波及額を軽減。

- ※1 地震が発生した際に倒壊等の危険性の高い公立小中学校等施設約1万棟を耐震化
- ※2 災害拠点病院等で耐震化されていない施設の約5割について耐震補強
- ※3 耐震化されていない施設の割合(40.4%)を半減
- ※4 推進地域において耐震化対策を概成
- ※5 特に危険な大規模盛土造成地の箇所数 約1000箇所→約500箇所
- ※6 推進地域等における家具の固定率 約50%

- ※7 重点密集市街地において最低限の安全性(不燃領域率40%以上等)を確保
- ※8 消防団員100万人を確保
- ※9 耐震強化岸壁の整備率 約70%
- ※10 高い耐震性を有する導管の割合 約85%
- ※11 ほぼ全ての大企業と、中堅企業の半分において事業継続計画を策定
- ※ 項目によっては、達成目標年次は必ずしも10年後ではない。

# (参考) 日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震について

## 経緯

- ▶日本海溝・千島海溝周辺のプレート境界やプレート内部では、マグニチュード7や8クラスの海溝型の巨大地震が多数発生
- ▶被害想定結果の公表(平成18年1月)
- ▶「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震対策大綱」(平成18年2月中央防災会議決定)において、地震防災戦略を策定することを規定

## 検討対象地震

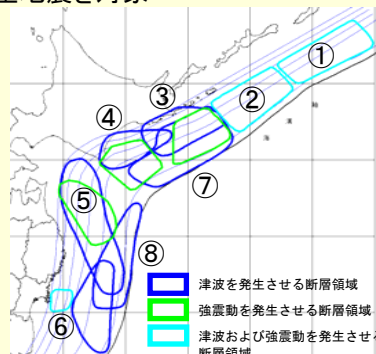
▶8つの日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震を対象

### 強震動及び津波

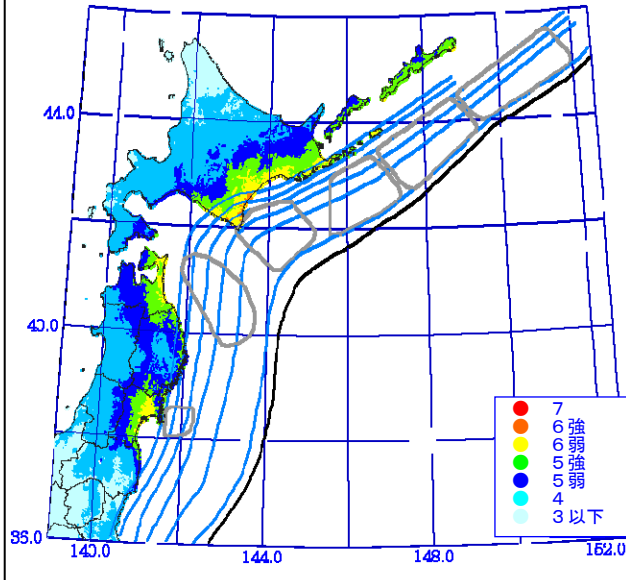
- ① 択捉島沖の地震
- ② 色丹島沖の地震
- ③ 根室沖・釧路沖の地震
- ④ 十勝沖・釧路沖の地震
- ⑤ 三陸沖北部の地震
- ⑥ 宮城県沖の地震

### 津波のみ

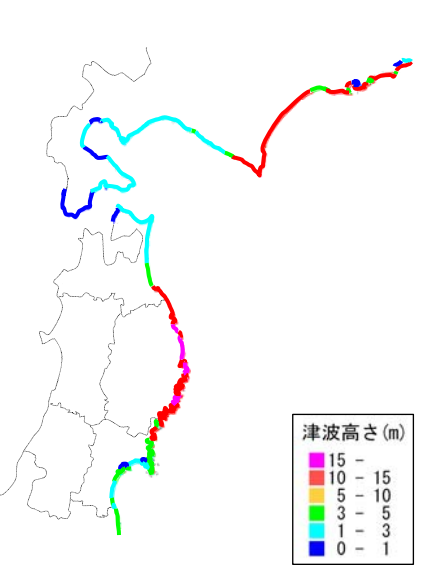
- ⑦ 500年間隔地震
- ⑧ 明治三陸タイプ地震



## 震度分布

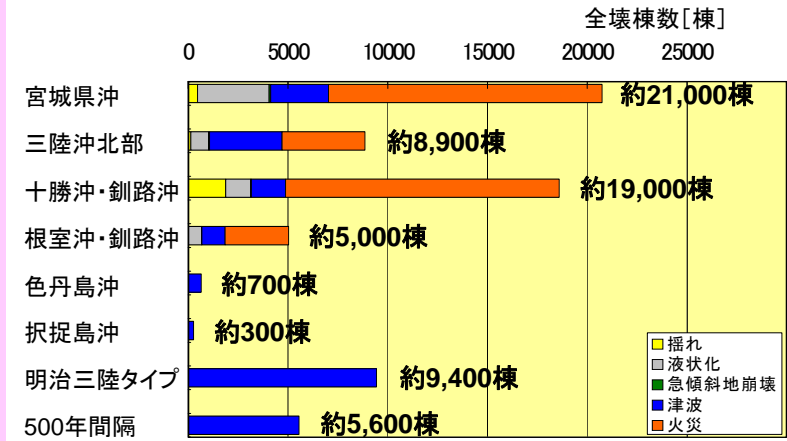


## 津波高さ

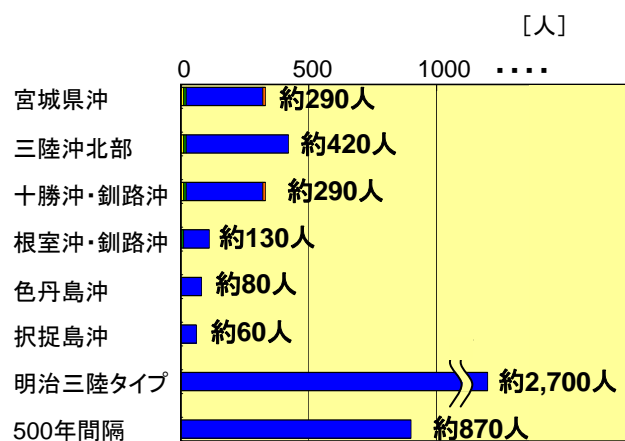


注) 震度分布及び津波高さについて、8地震のうち最大となるものを地点毎に求めて重ね合わせた図

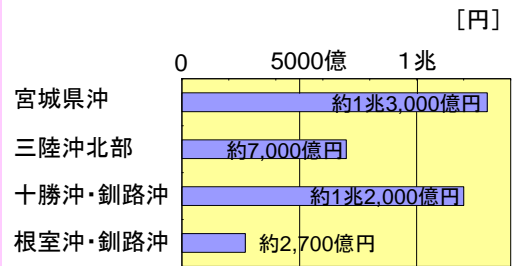
## 建物被害



## 死者数



## 経済被害



※冬18時、風速15m/s